





長NOTE

三瓶 達矢園長 編

皆様お元気でしょうか？新型コロナウイルスが国内で感染報告されてから丸4年が経ちます。1年目は緊急事態宣言で町からも人がいなくなり、2年目は無観客の東京オリンピック開催。3年目は感染者数が大幅な増加（福祉施設も大半がクラスターに）。4年目は5類へ移行。と様々な変化がありました。コロナの感染力は4年が経過してもウイルスの株は変化してまだまだ感染力は強いようです。ただし人間も免疫力がつき共存していく時期になったようです。

感染症のすごさを私は悔あなごっていました。今もなおウクライナやイスラエルで戦争が続いています。戦争も大事な命を奪い、都市を破壊する恐ろしいものですが感染症も同様ですね。昨年度、のん気に「元気があれば何でもできる。」「元気があればコロナもなくなる。」なんて書いていました。コロナもさやま園ではここ2年で5回も流行しました。幸い皆様軽症で済みました。

今年度は今回で3回目のクラスターです。今回は10月26日のさやま園祭の前日の25日夕方のことでした。夕食前に発熱の利用者さんがいたので、看護師が抗原検査をしたところ結果は「陽性です」との報告。この日は数年ぶりに体調がともわるく通院してからの出勤。まさに弱り目に祟り目。さてどうしましょうか？行事を担当し準備した職員。楽しみにしていた利用者さん。そして招待した45名の家族皆様に申し訳ない。コロナに負けてたまるかと「明日は行事をグループ単位で

実施しましょう。家族も呼びましょう。」と冷静さを失った園長。しかし職員から「家族を呼んで罹患りっかんさせたら大変です。お祭りを縮小し2日間に分けて少人数でやりましょう。」との提案を頂き、そのようにしました。その後感染者は増えて利用者・職員合計25名・・・幸い施設内で療養をされ回復予定です（11月7日現在）私が昨年度から園長に就任し「この園長ノートではさやま園っていいなあ？遊びに行きたいなあ？と思えることを記載したいです。」と書きましたが、コロナの記事ばかりで・・・すみません。

コロナとの共存は本当に難しいですね。コロナ禍になったことをきっかけに新しい考え方も求められます。利用者さんの余暇活動の支援も従来型ばかりではない方法も検討が必要かと思えます。「元気」も必要ですが「知恵」が大事になりますね。

また家族との絆や地域との交流も少しずつ広がっていきたいです。

福祉施設は人手不足もネックです。今年の充足率は5割程度とのこと。事業を閉鎖する施設もあります。そのために行えることを考える中で利用者さんの力にも着目してもよいのではと考えています。

次回のカルミアの記事では「コロナ」以外の言葉が書けることを願い、皆様にとっても2024年が良いお年になりますように。



つしま
対馬の

さやま アルアル 言いたい〜!



4月に着任し、春・夏・秋・冬と季節が変わりました。

にぎやかで楽しいエピソードがたえないさやま園で充実した日々を送っています。利用者さんも職員もようやく顔と名前が一致するようになってきました。みなさんのことを知るにつれて、これはさやま園の特徴?傾向?文化?愛すべきさやま園アルアルを見つけました。新副園長目線でご紹介します。

～ 支援員が歩くのが早すぎる ～



さやま園の本棟のはじからはじまで廊下を移動すると約150メートル強。南棟も含めると、利用者さんの誘導(車いすや手引きの歩行)や他の職員への相談、大量の荷物の移動。園外にでなくても一日で1万歩はこえるのだとか。(散歩・買い物に付き添う職員だと2万歩余裕で超えますよという声もあり。)長い廊下の往復をいかに効率よく安全にと身についたのだと考察しています。

さっきまで廊下に見えた職員に声をかけたくて、一瞬目を切ると姿が見えない瞬間移動。そして早歩きではありませんが、どんなに急いでいても決して廊下は走らない。それがさやま園の支援員。ただそのスピード、競歩のそれなのです。☺

まっつゝ



かき氷パーティ

Q1：企画のいきさつを教えてください。

夏の暑さをしのぐため楽しいかき氷パーティを開催

Q2：利用者さんの反応は？エピソードなどあったら教えてください。

18名の利用者が参加しました。利用者の皆さんは氷の山のキャンパスをシロップでカラフルに色づけしていきました。かき氷を食べる際、数人の参加者がスプーンで口に運ぶと頭がキーンとなったようで顔をしかめました。その瞬間、食堂は笑い声に包まれました。

担当職員



柳川

担当職員の感想

このかき氷パーティは、夏の日差しを忘れさせ、参加者同士の友情を深める場となりました。18人の仲間が一堂に会し、冷たいかき氷とともに、楽しい思い出を共有しました。(BY柳川)



花火

Q1：企画のいきさつを教えてください。

利用者さんからのリクエストでした。

山中さん（職員）が提案。「手持ちと打ち上げとどっちもやりたい！打ち上げは夜で！」わかばG合同でおこないました。

Q2：利用者さんの反応は？エピソードなどあったら教えてください。

他グループと交えて行えたため「ワイワイ」やりました。

Aさんからは「花火やさん、嬉しかったね～」とお声頂きました。

担当職員



角野



夏よ！ありがとう、終わらない夏に・・・

担当職員の感想

大人になればなるほど花火ってなかなかやらなくなってしまう、そんな中今回の企画で少しだけ青春時代を思い出したひともいたのでは・・・？(BY角野)

早起がつらい季節となりました。
勝手なもので、こうなるとあの夏の日が恋しくなります。
猛暑日が続いた2023年の夏、さやま園では様々な企画を立て
楽しく過ごす工夫をしていました。
今回はその様子をQ&Aでご紹介します。

そうめん実習

担当職員



長谷川



山中

担当職員の感想

Q1：企画のいきさつを教えてください。

長谷川さん(職員)からの提案でした。
利用者さんから「流しそうめん見てみたい!」と言われたのがきっかけです。

Q2：エピソードなどあったら教えてください。

井出さん(職員)から牛乳パックで作る手作りの流し台を伝授。「レーンにカーブを付けていこう」という長谷川さん(職員)の謎のこだわりがあり、コの字型になりました。そうめんが無事に流れたときには拍手!嬉しかったです。

Q3：利用者さんの反応は?

みそ汁や(以前の活動)で活躍していた利用者さんは勿論のこと薬味を切ったりサラダの盛り付けなど、とても楽しそうでした。
そうめんを掴むのに必死でした。

そうめん楽しかったです!またやりたいね!と利用者の方からの感想があり、「次はやきそばね!」とリクエストがあがっています。次回の企画も楽しみです(BY 山中)



令和5年10月26日さやま園祭。新型コロナウイルスが5類に移行されてから初となるさやま園祭となりました。

新型コロナウイルス流行以降、規模を縮小して行われていましたが、今年度はご家族をおよびして総勢36家族45名の方々から参加の連絡をいただき、ご家族と一緒に園内をまわって頂く計画となっていました。

しかし、10月25日園祭前日、利用者さんの熱発からコロナウイルスの陽性が判明しました。

残念ながら今回もご家族の参加は見送られることとなりましたが、感染症対策をとりフロアごとに収穫祭(ゲーム)と園内販売を実施する運びとなりました。予定していたお祭りとはいきませんが、利用者の皆さんはそれでも楽しく過ごしていました。その様子をご紹介します。



【行事食】デコレーションされたチョコバナナも大好評!



【園内販売】実際に自分で作成した刺繍が施された鞆を購入



【行事食】今回はハンバーガー、またはカレーライスの選択食。事前に利用者の皆さんにアンケートをとり、選んでいただきました。



【園内販売】バッグにアクセサリに…何を購入しようかな



【ギャラリー展示】ご家族にご覧いただくはずだった利用者さんのコロナ禍での生活の様子を展示したギャラリー。



GALLERY

SHIZUKA YABUSAKI exhibition

さやま園の活動棟奥の部屋で始めた展示会。
年に4回、利用者さんの個性あふれる作品展を
開催しています。

やぶさき 藪崎 静香 作品展

やぶさき
藪崎さんはバッグやアクセサリーのようなモノを作ります。実際に使用する
のは難しく機能不全を起こしているの「..のようなモノ」ということになり
ます。でも見方を変えると、それはオブジェのようでもあり愛らしいモノたち
です。「使える・使えない」といった枠にとらわれず、藪崎さんの大好きな「か
わいい！」が思う存分表現されていて、人を惹きつける魅力があります。

バッグを
作りはじめた
きっかけ

5.6年前に、フェルトに刺しゅう、絵を描き、ポンドで貼り付け、ポー
チを作ったのがきっかけ。ある時ビーズ作りを始め、それを機にバッグ
も制作し始めました。2年程前から、好きなもの（ビーズアクセサリー・
絵・フェルト・刺しゅう）を自由に、思うがままにフェルトにつけ始め、
現在の「バッグ」のスタイルが出来上がりました。

アクセサリー
について

テーマを決め、ビーズアクセサリーを作っています。
そのテーマは様々でディズニーのキャラクターやプリンセス（シンデレ
ラ・白雪姫）からイメージし、ピンクやオレンジ・黄色などキラキラし
た可愛い雰囲気の色合いのアクセサリーを制作しています。

藪崎さんて
どんな人？

ダンス・カラオケ（ユーミン）・食べること（洋食）・パン屋さん 等々
可愛いものや綺麗なものを、楽しいことが大好き。作品が完成するとみんな
に紹介。アクセサリーやバッグを身に付け、自らがモデルになりアト
リエのみならず、事務所や陶芸、歯医者さん等色々な人達へお披露目し
ています。



こんにちは!広報委員会のナギカワ（以下、ナギ）と申します。
AI の力を借りながらビートルズの新曲がリリースされた今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

お呼びした今回のゲストはかえてグループの岡部さんです！

それでは、**スタート ミー アップ！！**

入職の経緯



笑顔の岡部さん

ナギ：色々忙しい時期にありがとうございます。よろしくお願ひします。

岡部：いえいえ、こちらこそ。

ナギ：コロナ禍で交流や会食等が難しい時期に中途で入職されたこともあり、あらためて紹介も兼ねて今回依頼させていただきました。まずは入職の経緯からお聞かせ下さい。

岡部：はい。今までに接客業やビル管理等の仕事を経験してきました。前々職で障がいを持った方々と働く機会があり、就労定着の支援をする立場として実際に多くの時間を一緒に過ごす中で支え、助ける支援の仕事への興味を持ち、理解を深めていきたいと思います。仕事先を探していた時にさやま園を知り、実際に見学させていただいた際に利用者も職員の皆様も生き生きと過ごされているところにあたたかさを感じてここで働いてみたいと思い、さやま園に入職させていただきました。

ナギ：ビル管理のお仕事は興味深いですね。詳しくお聞きしたいのですが、それは WEB 版で公開することにしておきましょう笑。しかし前々職での出会いが岡部さんの方向性を決定づけるにあたって実に良いきっかけだったわけですね。その素晴らしい志を持った求職中にさやま園を見つけてくれてホントに良かった。

『岳 みんなの山』(連載時タイトル※単行本は『岳』)

ナギ：趣味って何かありますか？

岡部：山登りが好きです！コロナ禍で運動不足を実感始めた趣味なのでまだまだ日は浅いのですが、自分自身と向き合うために始めたことでもあります。仕事や私生活で悩んでいた時『岳』という山岳レスキューの漫画に出会い、自分の生き方で、自分だけにしか進めない道を手探りで歩きたいと考えたのがきっかけです。山は否定も肯定もせずただそこにあるだけで、その中を一步一步歩いて行く道のりが好きです。

ナギ：『岳』って確かビッグコミックオリジナルで以前に連載してて気になっていたのですよ。僕も読んでみようと思います。逆に僕からは谷口ジローさんの漫画をおすすめします。山にまつわるものも描かれていますよ。

岡部：それから、最近は岩盤浴巡りも好きです。身体の中からじわ〜っと汗がでてくる感覚が気持ちよくて好きです。上がった後のデトックスウォーターもお店ごとに特色があって、美味しい楽しめます。



利用者と一緒にジュースを買う岡部さん

ナギ：いいですね。岩盤浴で日々の疲れを癒して心身ともにリフレッシュされているんですね！僕はドリンクについて全く詳しくないですが...『オロポ』しか知りません。

岡部：それは種類が違いますね。デトックスウォーターもいろんなものがありますからぜひ調べてみて下さい。

ナギ：はい....

⇒続きは、さやま園 WEB サイト「<https://sayamaen.com>」にて公開いたします。または PC やスマホにて「さやま園」で検索してみてください。

編集後記

カルミア 221 号、今回の表紙はとある利用者さんのイラストを表紙として使用してみました。タッピングや陶芸など作品を写真で撮影し、表紙として使用することはありましたがイラストを使用するのは初めての試みとなります。いかがでしょうか。

さやま園では、日々色々な作品がうまれますが、それを発表する場が少ないのが現状です。Instagram など作品をアップしていくのは...?といった意見が広報委員会のなかであがってきています。Instagram について実行に移すことはできていませんが、カルミア・ホームページを通して、是非さやま園に興味をもっていただければ!と思っています。

広報委員 野島

